

また来たくなる 心つながる公民館をめざして

梶山公民館だより

令和3年1月9日 公民館前

発行 令和3年2月27日
梶山公民館
tel.fax 72-1980
e-mail : kunugi-koumin@ma.mrr.jp

コロナ禍と大雪

写真は1月9日公民館前の様子です。前日から降り続いた雪がこの日、梶山公民館でもご覧の積雪になりました。昨年の公民館だよりの冒頭では、ほとんど積雪のなかった温暖化気象を取り上げていましたが、正反対の結果です。これはまさに CO2 の「しわざ」と感じずにはいられません。

新型コロナウイルスが世界を席卷して1年余り、当初は「対岸の火事」と思っていたものが、あっという間に町内にまで広がる事態となりました。そして、これが2波、3波と波打ちながら、まだまだ終息しそうにありません。この間、手洗い・マスク・3密回避は社会の常識となり、また人の流れが規制されていることで、飲食業界はじめ中小企業は耐えきれないくらい疲弊している状態です。

これまで経験したことのない、こういう環境下で、これからの公民館の出来ることは何なのか?を考えたとき、地域住民の交流・集いの場、健康増進と文化の継承など、学びの場を提供しつつ地域住民を結ぶ、公民館の基本姿勢を変えることなく、出来ないところは出来る方策を講じ、安全を確保しながら、出来る限り前に進めなくてはならないと考えています。「雪に負けるな!コロナに負けるな!」 今しばらくの辛抱ですが、皆様の尚一層のご理解とご協力をお願いいたします。

館長 池原 正

記録的な大雪を顧みて

1月7日から11日まで降り続いた雪は、県内平野部で1mを超える35年ぶりの積雪となり、各地で道路の渋滞、東海北陸道での車の立ち往生等、交通網が大きく乱れました。また、物流が止まり、食品、新聞等が配送できなくなり、生活環境に影響を受けました。

今回の大雪で、改めて、行政と地域住民が雪害への備え、除雪作業等について、考えることが大切と思います。

《私たちができる大雪への備えと対応》

- (1) 大雪が予想される時は、不要・不急の外出を控える。
- (2) 地域ぐるみで一人暮らしの高齢者宅の除雪等を行い、助け合う。
- (3) 雪に覆われた用水は、わかりにくく、近づかないようにする。
- (4) 屋根の雪下ろしの時は、必ず2人以上で行い、はしごは固定し、軒下には入らないようにする。



※ 梶山公民館は、指定災害避難場所として、基本的に、休館日(月曜、振替)以外は、開館していますが、大雪の状況に応じてのご利用をお願いします。

厳しい降雪の中、除雪に係わる関係の方々への感謝と日々のありがたさを思い、自助、共助と備えと対応に、努めましょう。

主事 島 正彦

窓越の つぶやき

年明けの大雪で様々な気づきをいただいた。

夜中から悪戦苦闘の除雪車オペレーター、新聞配達、郵便配達、宅配の皆様、本当に感謝です。毎日当たり前に届いていたものや、不自由のない生活が当たり前ではないと、改めて思い知らされた。

そして、自分の体力の衰えも実感した。頭、目、歯、足腰・・・

それでも唯一、食欲だけは、今も衰えないのは・・・なぜ??

紀子



GO TO 公民館! 秋の展示会

11月15日(日) 午前10時～午後3時
梶山公民館 大ホール



ご存じの通り、令和2年度の公民館事業は、ほとんど出来ない1年でした。
そんな中でも、区長会、食改、男女共同参画、花と緑の銀行、などたくさんの皆様のご協力を得ながら、
桃李小学校、梶山保育所の児童、園児の作品の展示参加をいただき、「公民館まつり秋の展示会」を開催することが出来ました。心より感謝申し上げます。



<緊急企画>



公民館主催の地区対抗カローリング大会を2月26日(金)午前9:00より開催いたします。
(残念ですが、本誌発行時点で終了しています)
本事業は梶山地区福寿会、梶山地区体育協会、入善町カローリング協会梶山支部のご協力をいただき、地域の皆様の健康増進と地域活性化に寄与することを目的としています。

入善町生涯学習推進功勞表彰

去る9月6日、コスモホールにて生涯学習推進大会・男女共同参画フォーラムが開催され、前公民館長の米田幹雄さんが生涯学習推進功勞表彰を受けられました。米田さんは6年にわたり梶山公民館の館長を務められ、地域拠点としての役割の中でリーダーシップを発揮されました。

特にネット社会の情報発信として、公民館のホームページを立ち上げ、梶山小学校の閉校式典や文集「いなほ」をデジタル化し、卒業生が、いつでもどこからでも閲覧できるようにされました。またH29年富山県公民館初任者講習会で、パワーポイントを駆使し、非常にわかりやすく梶山公民館の運営・活動を発表され、我が公民館を大いにアピールいただきました。



前公民館長 米田幹雄 さん



キッズダンス



女性学級



元気！シャッフル 2020



多分 2020 年は、歴史に残る 1 年になること
 でしょう。新型コロナの感染対策で、不要不
 急の外出は制限され、ステイホームを推奨さ
 れ、人と人とのふれあいを極力避け、家に閉じ
 こもっていた方も、たくさんいらしたことでし
 ょう。

でも、感染対策を心がけて、このように
 元気な皆さんに公民館をご利用いただき
 ました。

ほんの一部ですが、シャッフルしてご紹介
 します。



カローリング



社交ダンス
サークル



ジュニア卓球
チームコスモ



卓球ラージボール



栄えある受賞 おめでとうございます

令和2年はコロナ禍にあって、梶山地区では、5名もの方々が秋の褒章をはじめ、大臣賞、県、町からの表彰を受けられる明るい話題もありました。受賞されました皆様は、誰もが知る“梶山を代表される方々”です。ここで、改めて受賞されました皆様の栄誉を祝し、その功績を讃えたいと思います。



秋の褒章 黄綬褒章

畜産業・元県肉用牛協会長

谷口一男 さん（梶山2区 71歳）

50年以上、肉牛の畜産業を営み、12年にわたり、県肉用牛協会長を務めるなど、県内肉牛農家の模範として肉牛の振興施策の充実に尽力。

「褒章を受けることが出来たのは、これまで支えてくれた家族のおかげ」



国土交通大臣表彰

都市緑化功労者 町政功労者

花と緑の銀行入善支店梶山地方銀行頭取

前田 幹男 さん（梶山新 77歳）

30年以上にわたり花と緑の銀行のグリーンキーパーとして活動し、H12年からは梶山地方銀行頭取を務めるなど緑化推進に尽力。「ともに活動してくれたみなさんに感謝」



文部科学大臣表彰

スポーツ推進委員功労者

町スポーツ推進委員協議会 副会長

池原 純一 さん（梶山3区 65歳）

30年以上にわたり町スポーツ推進委員として活動。H12年からは同協議会副会長に就任、町のさらなるスポーツ振興や地域住民の健康づくりに尽力。「受賞は、家族とともに活動してきた仲間のおかげ」



富山県功労表彰

産業経済

富山県農業会議会長・町農業委員会会長

鍋嶋 太郎 さん（梶山4区 69歳）

H14年から18年にわたり、農業委員会会長等として、農地の利用適正化や農業の担い手育成など、地域農業の振興に寄与。「農業の未来のため、今後も尽力したい」



町政功労者

環境保健

上田 恵子 さん（梶山3区 73歳）

36年以上にわたり、町食生活改善推進協議会の一員として活動。H23年からは同協議会会長として地域住民の食生活の改善に貢献。

女性学級

県内視察研修

11月8日、高岡・砺波方面へ新型コロナ対策に気配りしながら視察研修に行ってきました。最初、高岡出身である高峰譲吉博士の別荘であった松楓殿「松楓の間」の再現展示を見学。高峰譲吉って何した人？「タカジアスターゼ」「アドレナリン」の発明、偉い！ノーベル賞級だね！！・・・それからJAとなみ野の直売所見学、私たちが女性学級で作り方を学んだ「ます寿し」が販売されていました。次に、能作では高岡銅器のアートの世界に触れ、若鶴酒造では日本酒とウイスキーの魅力を堪能。世界初の高岡銅器の蒸留器は世界からも注目されているそうです。そんな、“富山県のスゴイ”を見て感動してきました。



公民館の役割を理解し積極的に利用しましょう

皆さんが利用している公民館の役割をご存じでしょうか。公民館は地域住民のための社会教育に推進する拠点施設として中心的役割を果たしています。また、公民館は仲間同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献し、生活の中で気楽に人が集うことが出来る場所として社会教育法に基づき市町村が設置している公的施設です。

しかしながら、制定から70年が経過し高齢化や過疎化に伴い全国で公民館の「コミュニティセンター」への移行が増えています。県内では、射水市が市全体27の公民館をコミュニティセンターに移行し、南砺市が31地区の市立公民館をコミュニティセンター化しています。また、魚津市でも財政難が深刻化する中、2024年度までに全13地区の公民館のコミュニティセンター化を目指しています。都市と地方では考え方やニーズに隔たりがあり公民館に対する考え方に違いがありますが、入善町には中央公民館を含め10地区に11の公民館があり、幸いにも地域の皆さんの協力により維持されており、それぞれの地域に根ざした活動の拠点になっています。コロナウィルスの影響で公民館の行事や地域の皆さんの集会・活動も中止となりこの1年は閑散としていましたが、春の訪れとともにコロナが収束して公民館の年間事業計画や地域の皆さんの活動が再開できるそんな季節の到来が待ち遠しいです。

主事補 折笠和巳